

今回は…千代田の優位性についてのご紹介です！

北海道では、酪農試験場への委託試験として、“飼料用とうもろこし”における千代田エースの効果確認を3カ年に渡って実施してきました。

今回はその試験結果から、千代田の特長の裏付けとなる、優良なデータをご紹介します！

試験資材「千代田エース」

★エース品は、千代田の**溶けやすさ**を活かしつつ、機械散布でも使いやすいよう**粒状**にした肥料です。



通常千代田
(ポーラス)



千代田エース
(粒状)

試験地の中標津(なかしべつ)町

酪農が盛んな地域。
真夏でも平均気温が20℃前後と、
冷涼な気候が特徴です。

低温時の肥効

千代田の施用により、**初期生育が良くなりました！**

調査日は播種後39～51日
播種日：5月中旬

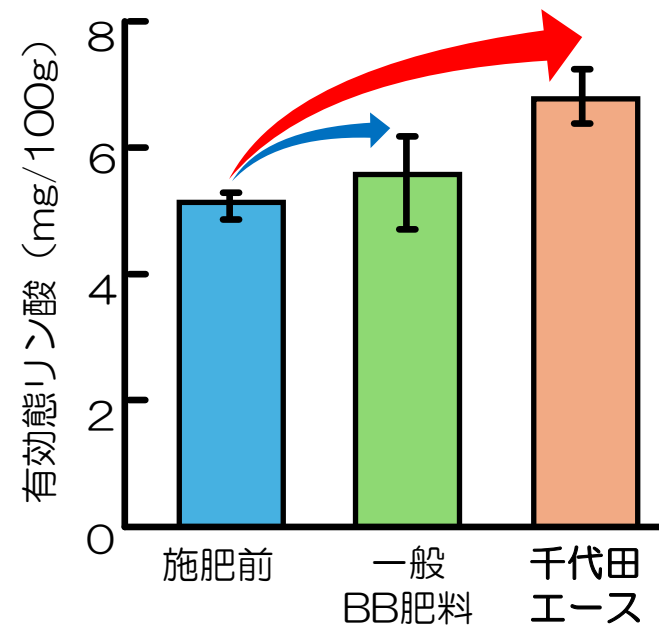
試験地では、初期生育期間となる6月の平均気温は**10～15℃程度**ですが、

春先の冷涼な条件下でも、千代田の速効性が確認される結果となりました！

※両区とも基肥N 10kg/10a

処理区	草丈 (cm)	葉数 (枚)	1株重 (g/本)	乾物重 (kg/10a)
千代田区	46	6.9	1.19	10.3(108%)
対照区	44	6.8	1.01	8.8(100%)

リン酸の肥効



試験圃場で施肥後17日目の土壌を分析した結果、**有効態リン酸含量が対照区と比較して高まっている**ことが確認されました。

千代田の初期段階における**リン酸の肥効が高い！**という特長が再確認される結果となりました！

※両区とも施用リン酸 20kg/10a

今回は、低温条件下でもしっかりと効果を発揮する**千代田**の特長をご紹介します！
これから、特に初期生育が重要となる春先の栽培に向けて“**パッと効く**”**千代田**の効果を是非お試しください！